

令和3年度(第11期)
事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会

目次

1. 事業の概況	1
2. 令和3年度(第11期)事業報告書	2～8
資料1	主たる庶務事項
資料2	修理・整備・保全
資料3	杉本家住宅の一般公開
資料4	年中行事の公開
資料5	出版物等に対する資料等の公開
資料6	事業連携先主催の催事への会場提供
資料7	建造物ならびに古文書類・伝来調度類の調査及び 研究の報告書等の作成及び刊行
資料8	会員組織
資料9	受取寄附金
別紙1	令和3年度国宝重要文化財等保存・活用事業 費補助金実績報告書
別紙2	公開事業
別紙3	『THE KYOTO クラウドファンディング』寄付者一覧
3. 監査報告書	

1.事業の概況

第11期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)の事業概況は以下の通り。
新型コロナウイルス感染症が収束をみない状況が続くことから、例年実施していた公開事業を状況に応じ中止または規模縮小した。その為、公開による収入が減少し厳しい運営となった。

保全事業は、国庫補助事業として重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業に対する補助金が11月1日に交付決定された。前年度に引き続き耐震診断調査を行い耐震補強の検討を進めた。同時に修理の必要な個所の調査点検、白蟻被害の処置を施した。工事の調査報告書については『杉本家住宅調査報告書』作成プロジェクトとして京都工芸繊維大学 KYOTO Design Labと連携し、建物全体の3Dスキャナーと無人航空機の撮影によるデータの集積、工事の調査と記録を進めた。工事費の確保について、初めての試みとしてクラウドファンディングでの寄付金募集を実施(令和3年3月1日～5月31日)、636件から780万円超の寄付を受けた。大掃除はコロナ感染状況を鑑み、例年の京都女子大学との連携を中止し広範囲の掃除は見送った。建具替えは例年通り。名勝庭園の保全については、保全費の確保が厳しく専門職人の稼働日数及び人数を調整した。同時に高塀保存修理強化工事を進めるにあたり砂雪隠の解体、樹木の伐採などを行った。

公開事業は、例年開催の年中行事の特別一般公開(上巳節句雛飾り展、端午節句展、祇園会屏風飾り展)ならびに月1度の解説付きの『一般見学コース 京町家で過ごす懐かしのひととき』を10月～翌3月までの期間に週3日間(金・土・日)開催を継続する事業計画であったが、コロナにより雛の節句飾り展、端午の節句展は中止。『一般見学コース』はコロナ感染者数状況に配慮しながら不定期に公開を行った。祇園祭は、山鉦巡行は中止されたが、山鉦建て、町会所飾りは再開された。屏風飾り展について時間予約制、人数制限を設け、コロナ感染防止対策(受付での検温、マスク必着、アルコール消毒など)を徹底し開催した。公開に当たっては、入場者の立ち入り範囲を制限するなど、建物への負荷や展示道具類の保護を十分に配慮しつつ実施した。公開時の『虹の会』、『京都の文化財を守る会』のボランティア解説員については、コロナ感染症を鑑み依頼は中止した。ホームページ(日本語・英語)、出版物・新聞・テレビなどを通じて公開に努めた。入場者を迎えるのが公開が難しい中、新しい試みとして、HPにおける360視野°定点撮影による画像公開を開始した。

収益事業について、前年度より開始した米蔵の京都女子大学KOMEGLAキャンパスは、コロナ影響により学生の出入りのある使用は見合された。次年度以降、本格的な使用計画が推進される見込みである。教育機関に対し、大学との事業連携と公開講座への協力を行った他、地元小学校・大学の学外授業への協力、小・中学校の研修旅行のテーマ学習への協力などを行った。公開事業を積極的に行うことが難しい状況下でありながらも、広く町家保存の理解を深めると同時に、建物の維持保存に必要な財源の確保に努めた。

会員組織について、既存会員の集いの機会として懇親会、『文化サロン』はコロナにより中止した。新規会員の募集、既存会員への継続勧奨など、会員組織の拡充に取り組んだものの、コロナ影響により新規入会者数は伸び悩んだ。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公開事業の在り方の模索が課題である。昨今、京都市の観光行政の影響から、京都市内の歴史ある京町家の取り壊しの例が顕著となり、伝統建築遺構ならびに町衆文化の維持保存と伝承に努める当財団の活動に対して関心が寄せられるよう、会員組織の拡充になお一層の努力を続けたい。

令和3年度第11期の無事終了に対し、関係諸機関ならびに関係各位に深く感謝と敬意を表します。今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

以上

令和3年度(第11期 自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)
事業報告書

祇園祭山鉾町最大規模の町家遺構である杉本家住宅とその環境を保存・公開し、商家独特の諸行事の継承・保存・公開を行い、併せて町人文化を研究・調査し、もって地域の伝統文化の振興及び学術文化の発展に寄与することを目的(定款第3条)とする当財団の設立主旨に基づき、令和3年度は以下の事業を行った。

事業(定款第4条)

- (1) 杉本家住宅及び庭園の保存・公開
- (2) 杉本家伝来の調度類及び什器の保存・公開
- (3) 商家独特の諸行事及びその関連諸行事の継承・保存・公開
- (4) これらの資料に基づく町家遺構と町人文化の調査・研究の報告書等の作成及び刊行
- (5) 杉本家及び日本の伝統文化に関する物品の提供
- (6) その他、目的を達成するために必要な事業

定款に基づく上記の事業について、以下6つの区分をもって事業活動を行うものとする。
主たる庶務事項は別紙[資料1]の通り。

(1) 保全

- 1) 修理・整備・保全[資料2-1-2-2]
- 2) 自動火災報知装置の点検(年2回)8月18日・1月17日
消火器の点検(年1回)5月14日
- 3) 庭園管理(植木剪定、薬剤散布、寒肥え)
4月22日、7月8日・27日、11月8日、12月23日、3月24日
- 4) 大掃除ならびに建造物点検 6月20日・21日・27日
※コロナ禍により大掃除は規模縮小しつつ少人数で回数を分けて実施。

(2) 継承保存

- 1) 年中行事—正月・節分・彼岸会・すす払い(6月・12月)・建具替えなど
- 2) 祇園祭「伯牙山お飾り所(店の間)」ならびに関連諸行事
ちまき準備※コロナにより中止、伯牙山保存会寄り合い7月2日、
お飾り所7月14日～17日※山木組み、懸飾品の蔵出し、お飾り所飾りつけ。山は14日
に解体、収蔵庫へ収納。お飾りは17・18日に片づけ。
- 3) 宿場入り「奈良屋創業記念日床飾り」・「祝い膳」8月5日
- 4) 報恩講「仏壇荘厳」11月26日

(3) 公開

- 1) 杉本家住宅の一般公開(主催・他主催・その他)[資料3-1-3-2]
- 2) 奈良屋創業期資料の展覧(常設—奈良屋看板、古文書類等)
- 3) 年中行事の公開[資料4]
- 4) 出版物等に対する資料等の公開[資料5]
- 5) 事業連携先主催の催事への会場提供[資料6]

(4) 収益事業

米蔵の賃貸。令和2年11月1日～令和5年10月31日(3年間、以降契約継続は都度)、
学校法人京都女子学園を賃借人とする契約(賃料月額170,000円<内税15,454
円>、共益費(管理費として)月額11,000円<内税1,000円>)。
『KOMEGLA キャンパス』として京都女子大学が使用。今年度はコロナ感染症拡大により、
実質的な使用は無し。

(5) 調査研究

- 1) 建造物ならびに古文書類・伝来調度類の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行[資料7]
- 2) 防災対策に係る調査・研究及び検討

(6) 会員組織

- 1) 維持会員の募集[資料8]
- 2) 会員対象の杉本家住宅の見学
- 3) 受取寄附金[資料9]
- 4) 機関誌「綾小路」第26号の発行

資料1 主たる庶務事項

1. 理事会・評議員会

第25回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月13日

第1号議案 令和2年度事業報告の件

第2号議案 令和2年度収支決算の件

第3号議案 役員改選の件

第4号議案 代表理事、副理事長、常務理事選任の件

第5号議案 第12回評議員会の決議省略の件

議案 第1号議案 令和2年度事業報告の件

第2号議案 平成2年度収支決算の件

第3号議案 役員改選の件

報告事項 ・代表理事等の理事会への自己の職務の執行状況の件

・以降の実開催の理事会で改めて報告することの報告。

第12回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月15日

第1号議案 令和2年度事業報告の件

第2号議案 令和2年度収支決算の件

第3号議案 役員改選の件

第26回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月17日

第1号議案 任期満了に伴う代表理事選定の件 代表理事 杉本千代子

第2号議案 任期満了に伴う副理事長選定の件 副理事長 冷泉為人

第3号議案 任期満了に伴う常務理事選定の件 常務理事 杉本節子

第27回理事会 令和4年3月22日開催

第1号議案 令和4年度(第12期)事業計画の承認の件

第2号議案 令和4年度(第12期)収支予算の承認の件

第3号議案 その他

報告事項 ・大屋根工事の進捗状況について

・代表理事、業務執行理事の職務執行状況について

資料2-1 修理・整備

1. 国宝重要文化財等保存・活用事業 別紙1参照

事業の名称:重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業

補助金交付申請:令和3年9月1日

補助事業の目的及び内容:

重要文化財杉本家住宅主屋及び附高塀の保存の為、総事業費 195,000,000 円、うち

令和3年度事業費 50,000,000 円(主たる事業費 49,871,200 円

その他経費 128,800 円)により、屋根葺替・部分修理の実施。

交付申請額:42,500,000 円(補助対象経費 50,000,000 円の 85%)

※令和3年度コロナ感染症対応で補助率5%増)

補助事業経費の使用方法:京都府教育委員会に委託

(委託期間:令和3年11月1日～令和5年3月31日)

交付決定・受託:令和3年11月1日

工事着手:令和3年11月1日 工事完了:令和4年3月31日

2. 京都府文化財保存費補助事業

事業の名称:重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業

補助金交付申請:令和4年3月18日

交付申請額:1,000,000 円

交付決定:令和4年3月29日

3. 史跡名勝天然記念物現状変更事業

重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業実施関連

申請①:令和3年11月1日

杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理の為、主屋及び高塀の周囲に工事用の仮設物

(素屋根・軒足場)設置の為、露地庭の枯損木(カエデ1本)除去。

許可:令和3年11月8日

申請②:令和4年1月14日

同工事の施工支障となる為、露地庭の砂雪隠の解体修理を実施。保存修理工事完了

後の主屋の維持管理の為、露地庭の一部樹木の剪定・伐採を行う。

許可:令和4年3月3日

4. 国指定文化財維持管理費補助事業(京都府)

内容:①防災施設保守点検等(126,500円)能美防災

②名勝庭園の手入れ(440,000円)京都庭園研究所、庭屋佐野健介

実施期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日

交付申請:令和4年2月1日

決定通知:令和4年2月24日 確定通知:令和4年3月24日

補助金額:157,000円(所有者負担 299,500円)

資料2-2 保全

1. 明日の京都文化遺産プラットフォーム(羅城門再建支援委員会、危機管理委員会)

京都盆地復水事業『天水バケツプロジェクト』への参画

江戸時代の天水桶から着想。災害時の防災の観点から1杯のバケツの水を「初期消火」につなぐ取り組み。雨水の樋からバケツへの貯水方法の開発と当住宅内における天水バケツ数か所の実用設置。貯水は平常時には打水や掃除に活用し使用後の汚水も庭へ散水し循環に配慮する方法であることから、令和3年度京都環境賞、地球温暖化対策賞(いずれも京都市)を受賞。天水活用が火事発生時の初期消火への防災意識を高める取り組みとして評価された。

2. 白蟻被害に対する処置

7月10日 表玄関正面格子下箇所に白蟻被害を確認、市販薬剤散布。

17日 専門業者による薬剤散布(八畳の間から表屋にかけての床下)。

資料3-1 杉本家住宅の一般公開(主催・他主催・その他) 別紙2参照

コロナ感染拡大を鑑み、例年開催の特別一般公開(解説見学コース事前予約制定員20名年中行事公開事業開催月を除く第1土曜午前10時30分~正午)、会員対象の文化サロン、会員限定特別懇親会については開催を見送った。コロナ感染症緊急事態宣言発令、感染者数の拡大の影響で公開、見学会の中止を余儀なくされたものの、感染状況の推移をみつつ、イレギュラーな公開として、予約・定員10名で1日4時間帯での公開を6月に2日間、祇園祭屏風飾りは時期を分け、予約・定員10名で行った。7月9日京都府ふるさと納税者特別件学会10名。コロナは収束をみないながら、京都観光の需要は確実に存在していることからコロナ対策を模索しながら公開を試みた。

資料3-2 クラウドファンディングのリターン見学会

クラウドファンディングのリターンとして、支援者全員に入館チケットを配布。祇園会の公開時に来場の勧奨を行った。特別見学会のリターンの以下を開催。

『特別鑑賞会 9代目杉本秀太郎書斎&豪華婚礼衣装見学会』

10月23日3名、11月14日10名、11月21日9名

資料4 年中行事の公開

コロナ感染拡大に鑑み、雛飾り展、端午節句展は中止。

祇園祭は、山鉦巡行は中止であったが山鉦建て、会所飾りは各保存会の判断での運営となり、伯牙山は蔵出しは例年通り、飾り所は例年通りのお飾りはするが一般の拝観は無し。山建ては技術継承の確認作業の事とし、13日に山建て、14日に片付けされた。

当財団は『祇園会屏風祭り』を日に4~6時間帯・定員各10名・完全予約として公開。

京都市観光協会の予約システムを利用し、事前クレジット決済と受付入金を併用。

7月10日27名、11日32名、12日24名、14日55名、15日75名、

16日74名、20日34名、21日47名、22日58名、23日54名 期間中見学者総数505名

資料5 出版物等に対する資料等の公開

【360°視野定点撮影による画像のHP公開】

新しい公開様式として定点カメラ撮影による360°視野画像のHP公開 撮影:佐藤佑樹

【書籍】

『京都の木戸門と番人 京(みやこ)の夜を守ったものたち』丸山俊明著 大龍堂 火消道具2点

『わたしたちの家庭科5・6』小学校家庭科教科書 開隆堂出版 八畳の間格子1点

『第18・19回京都検定 問題と解説』京都新聞出版センター 杉本家住宅解説文書の掲載

『きょうの料理テキスト』10月号 伝えたい!始末のレビ°

【新聞】

令和3年9月17日・24日、10月1日・8日朝日新聞朝刊ごはんラボ『お揚げ』全4回連載

令和4年1月13日・20日、27日・2月3日朝日新聞朝刊ごはんラボ『冬の根菜』全4回連載

令和4年1月15日 『下京市民しんぶん』杉本家住宅設置の「天水バケツ」記事掲載

【テレビ】

令和3年 9月30日 NHKBS プレミアム風神雷神図を描いた男 天才絵師・俵屋宗達の正体(再放送)

令和3年10月22日 Eテレきょうの料理 伝えたい! 始末のレゾ 杉本節子出演

(歳中覚200年のレシピより15秒)

令和3年10月28日 NHK 国際放送 Japanology Plus 畳の映像(歳中覚 200年のレシピより 15秒)

令和3年12月15日 NHK 国際放送 Dig More Japan(歳中覚 200年のレシピより 15秒)

令和3年12月25日 NHKBS Core Kyoto 古都の年末年始～歳神様への感謝と祈り

【その他】

令和3年12月17日 JR 東海 そうだ。京都いこう。冬の企画 PR 動画 表玄関

令和4年 3月23日 佛教大学『大学案内2023』表玄関1点

資料6 事業連携先主催の催事への会場提供

10月19日 連携公開講座 午後1時30分～

京町家特別公開講座シリーズ第30回「女性が学ぶ京の町家文化」

講師:杉本歌子『空と暮らしをつなぐ一本の紐のお話』

講師:吉澤健吉氏(京都産業大学文化学部教授)『京の宗教界の人々』

11月24日 連携公開講座 午後1時30分～

京町家特別公開講座シリーズ第31回『女性が学ぶ京の町家文化』

講師:杉本節子『京呉服商家 杉本家 始末の暮らし・ならわし』

講師:小嶋俊氏(小嶋商店提灯職人/小嶋庵 代表)

『京提灯の老舗・小嶋商店について』

2月4日 連携授業 京都女子高校ウイステリア科1年生

講師:杉本歌子『未来(あす)への歩み～京商家杉本家の習いとくらし～』

講師:通崎睦美氏(マリンバ奏者)『着物の楽しみ～アンティーク着物の世界』

資料7 建造物ならびに古文書類・伝来調度類の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行

1. 建造物の調査・研究

1)重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業関連調査

①建築研究協会による耐震調査(13回)

6月19日、8月19・26日、9月1・2日、10月9・14・21日、11月4・11日、12月11・23日、1月7日

②『杉本家住宅調査報告書』作成プロジェクト

統括・調査監修:清水重敦(京都工芸繊維大学教授 当財団評議員)

3Dアーカイビング:バルナ・ゲルゲイ・ピーター

(京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任研究員)

指導助言:鶴岡典慶(京都女子大学教授 当財団理事)

<作業経過>

10月8日府島田氏、清水教授と報告書作成に関する協議を行った。

11月9日3Dレーザースキャナーによる初回撮影(ゲルゲイ氏、神谷氏)。12月～3月末までに邸内の各部屋、庭の実測調査ならびに周辺マンション、ホテル上階からの俯瞰撮影、工事進捗の段階的な3Dスキャナー、無人航空機での撮影をのべ11日間行った。また所蔵品の伏見人形(猿)、石彫(兎2体)の3Dレーザースキャンを行った。

3月30日清水教授、鶴岡教授による主屋大屋根垂木、野地板などの現地視察。

2. 害虫駆除調査

藤井義久教授(京都大学院農学研究科教授)による、中蔵内害虫捕獲器の設置。継続的な状況の確認作業の実施。6月3日設置、6月8・9・16・18・24日、1月18日捕獲器内の確認記録。

3. 古文書類の調査・研究

今年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言に併せ、感染拡大防止のために調査会ならびに研究会の開催は休止。古文書内容の整理、目録制作を研究員各自で進めた。

資料8 会員組織

令和3年度 種類別新入会数

年度	賛助会員	特別会員(法人会員)	正会員	年度合計
3年度	1	0	8	9

令和3年度 種類別継続会員数

年度	賛助会員	特別会員(法人会員)	正会員	年度合計
3年度	3	4	147	154

令和3年度新規入会者 *敬称略 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

【賛助会員】(1名)

浅利三郎

【正会員】(8名)*左から右へ入会順

河野秀之 野村一志 桐田勝子 松下美智子 瀬戸川雅義 浅利三郎*賛助会員としても登録
清水賢涼 杉本輝美

【参照】

令和2年度 種類別新入会数

令和2年度	賛助会員	特別会員(法人会員)	正会員	年度合計
合計	0	0	9	9

令和2年度 継続会員数

令和2年度	賛助会員	特別会員(法人会員)	正会員	年度合計
合計	3	6	156	165

資料9 受取寄附金 *敬称略(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

重要文化財(建造物)杉本家住宅主屋及び附高塀保存修理強化対策事業(大屋根葺替工事)

①寄附金(1口1万円)*財団口座への入金、現金受領

岩田英明 笠松健(5口) 近藤育代(2口) 杉江泰定 福井由美子 田村千代子 吉田恭信 徳田春美
灰川皓三 荒木泰子 河野秀之 木村都(5口) 國松喜代子 上林五三男 山口禮子 岡田泰明(10口)
林輝子(2口) 原山祐一 倉森治(3口) 吉田清子 奈倉章子 伊能正郎 伊能万知子 柏木隆雄(2
口) 駒井恵子 杉本幸一(3口) 稲田盛穂(3口) 株式会社丸平大木人形店(10口) 大木邦夫(10口)
森田泰男・さおり(2口) 相馬百合子 上原恵美 中崎啓祐 小林美歩子(2口) 六角仏教会水谷了宏
(10口) 井上義夫(10口) 亀苔美智子(5口) 益田兼房(3口) 浦谷照雄(3口) 岸啓二 新井契 田
中昭三 田中俊子(2口) 森口邦彦(10口) 石井千枝子 齊藤一誠(10口) 中澤一海(2口)
奥村好信 岡田知子(3口) 内田正夫 安本義正(5口) 小長谷敦子(2口) 武田幸三 齊藤貞博
新取守正(3口) 瀬川展子 関岡誠一 大関健 波多野文子 竹淵美津子(3口) 知原信行(5口)
村井康彦 齊藤透(30口) 山中恵美子 宮崎忠芳(30口) 河田克博 深見みち子(5口) 多田安子
渡邊洋 渡邊登土子 栗本徳子(5口) 古橋祐子(5口) 渡邊潔(5口) 木田ミチル 伊谷和子
菱田多賀志(10口) 水谷憲郎 堀井康弘(300口) 内藤幸子(3口) 藤井祥子 安井奎工務店10口)

岩崎洋子 新井映子 木田麻彩 相生郁子 松枝栄美子(3口) 桐田勝子 中川布実子
有限会社井傳(3口) 宮越由紀子 上江洲 由美子 森賀まり 坂本 裕子
龍谷山本願寺(西本願寺)(10口) 田村良一 伊関登紀子(5口) 土屋由美子 込田幸吉 木村忠紀
コンドウ建築 有限会社金森建築 スタイルプラス株式会社 佐野操 坂田文子 津崎隆司 加貫誠己
加貫るり子 荘司典子 藤岡郁(10口) 大原眞弓(5口) 株式会社パルティス 清水賢涼(10口)
前田節子 中村孝(3口) 畑正高(30口) 吉川信博(10口) 相馬百合子 植田伸子(3口) 藤川豊
門田理 柳瀬宏明(10口) 柳瀬玲子(10口) 柴田敦子 八角奈々子(5口) 大塚電設(2口)
渡里尚人(2口) 杉本輝美 柴原良夫

②クラウドファンディング『THE KYOTO クラウドファンディング』

【寄付型】次の150年へ、重要文化財「杉本家住宅」の大屋根瓦15000枚を葺き替えたい』

実施：令和3年3月1日～5月31日

支援者数636件から7,829,000円の寄付金 別紙3参照